

第74回 遷移

■植生遷移とは何か説明せよ。

- ・ 時間とともに植生が構成種を変化させ、最終的に「極相」（クライマックス）という安定した状態に落ち着くまで移り変わる事
- ・ 極相種：極相を形成する植物種

■一次遷移（乾性）の過程を順に述べよ。

- ・ 荒原（裸地～地衣類・コケ類）→草原（一年生植物～多年生植物）→陽樹林→陰樹林

■一次遷移（湿性）の過程を順に述べよ。

- ・ 貧栄養湖→富栄養湖→湿原→草原→あとは乾性遷移と同じ

■一次遷移が上記のように進行する理由を述べよ。

- ・ 裸地のような過酷な環境では、菌類とシアノバクテリアの共生体である地衣類や、コケ類が生育する。このような植物を「先駆植物」（パイオニア）と言う
- ・ 土壌が形成されると、環境が悪条件の場合には種子でやり過ごせる一年生植物が生育
- ・ さらに環境が改善されると、多年生植物が生育
- ・ 陽樹が生育すると、背が高いため光を独占でき、陽樹林が形成される
- ・ 陽樹林の地表近くは暗いため陽樹の幼木は育ちにくく、「耐陰性」の高い陰樹林が取って代わる。

■二次遷移について説明せよ。

- ・ 放棄農地や伐採跡地からの遷移
- ・ 二次林：二次遷移から成立する森林
- ・ 土壌が既に存在し、その中に種子も存在する。遷移がはやく進む

■ギャップとかく乱とは何か説明せよ。

- ・ ギャップ：植生のすき間。地表面まで光が届き、陽生植物が育つ
- ・ かく乱：植生を破壊する作用。ギャップを作り出す